

RESAS

を分析してみよう

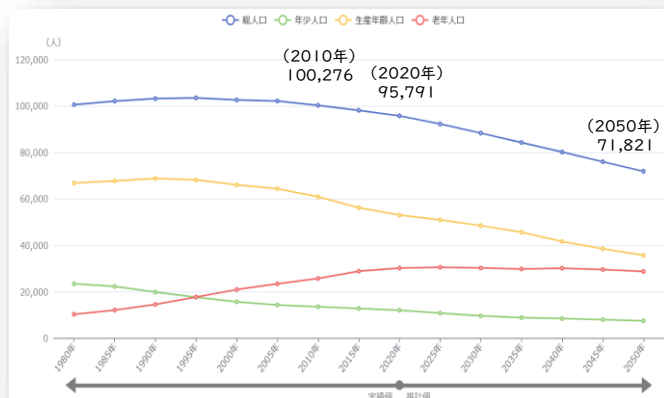
静岡県
島田市

RESAS（地域経済分析システム）は、地域経済に関する様々なデータ（産業の強み、人の流れ、人口動態など）をグラフで分かりやすく「見える化（可視化）」したシステムです。データに基づいた地域の実情を把握・分析できるので、ぜひ参考にしてみてください。

人口

<https://resas.go.jp>

RESAS



*人口マップ→人口構成→人口推移

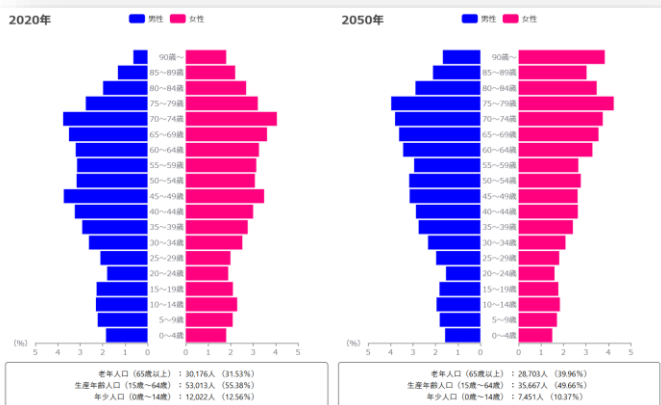
年齢別人口推移

2020年の人口は総人口95,791人。10年前（2010年）の100,276人と比較して減少しており、今後も減少傾向が続く見込みである。また、年齢別に将来の傾向をみると、年少人口や生産年齢人口は減少傾向、老年人口はゆるやかな減少であり、老年人口割合が増加する傾向にある。よって、少子高齢化が一層進んでいく地域である。

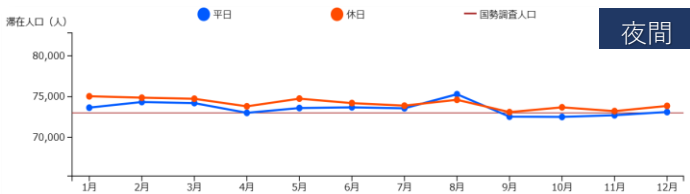
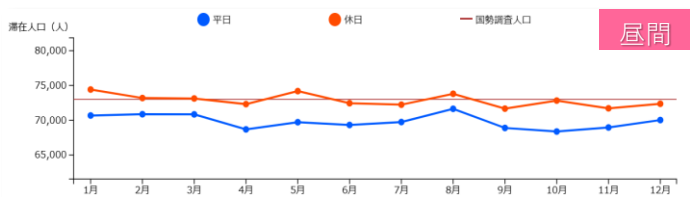
※年少人口は15歳未満、生産年齢人口は15～64歳、老年人口は65歳以上をさす。

人口ピラミッド

現在と将来の年齢別人口構成を示したグラフである。2020年、2050年の人口ピラミッドは共に「つば型」である。老年人口の割合をみると、2020年の31.53%から2050年には39.96%まで増加する。一方、生産年齢人口は2020年の55.38%から49.66%まで減少する見込みである。



*人口マップ→人口構成→人口ピラミッド



*まちづくりマップ→滞在人口率

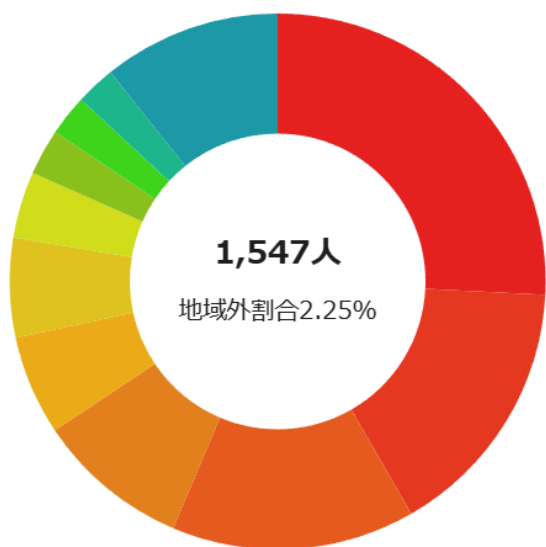
滞在人口

（2022年、上：昼間、下：夜間）

携帯電話の位置情報を元に、市内に滞在している人の数を月毎に示したグラフである。平日の人口をみると、昼間人口より、夜間人口の方が多く、市外からの流入人口より、市外への流出人口が多いことがわかる。

※昼間は14時、夜間は20時のデータ

人口



*まちづくりマップ→From-to分析(滞在人口)

From-to分析(滞在人口)(2022年)

居住都道府県別の平日昼間14時に滞在していた人数の月間平均値を現したグラフである。
愛知県が25.8%と最も多く、東京都15.9%、神奈川県14.7%が続く。

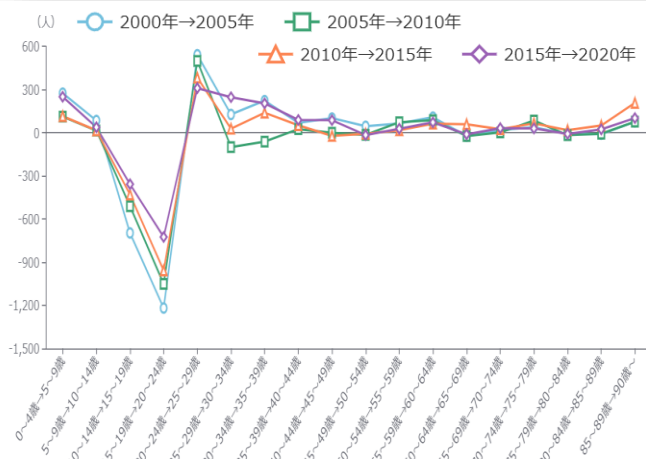
滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 愛知県 399人 (25.79%)
- 2位 東京都 246人 (15.90%)
- 3位 神奈川県 227人 (14.67%)
- 4位 大阪府 143人 (9.24%)
- 5位 千葉県 93人 (6.01%)
- 6位 埼玉県 93人 (6.01%)
- 7位 兵庫県 62人 (4.01%)
- 8位 山梨県 43人 (2.78%)
- 9位 岐阜県 38人 (2.46%)
- 10位 福岡県 37人 (2.39%)
- その他 166人 (10.73%)

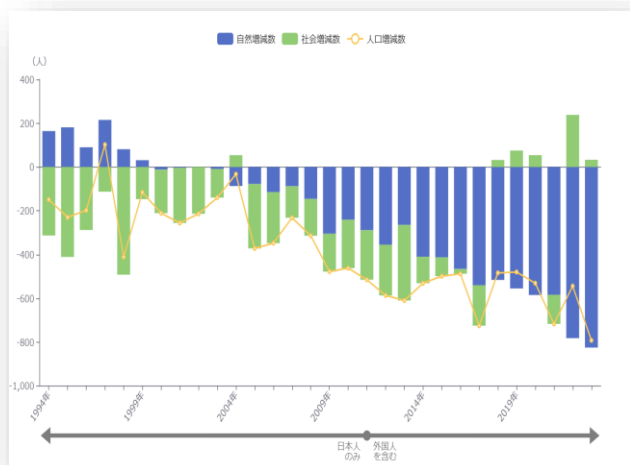
年齢階級別純移動数時系列分析

年齢階級別純移動数の時系列推移は、主に大学進学時(15~19歳→20~24歳)で人口が大きく流出後、就職時(20~24歳→25~29歳)に市内に戻ってくる傾向にある。

その後、年代ごとに増減の波はあるが、大きな流れとしては横ばいの傾向がみられる。



*まちづくりマップ→From-to分析(滞在人口)



*人口増減→グラフ

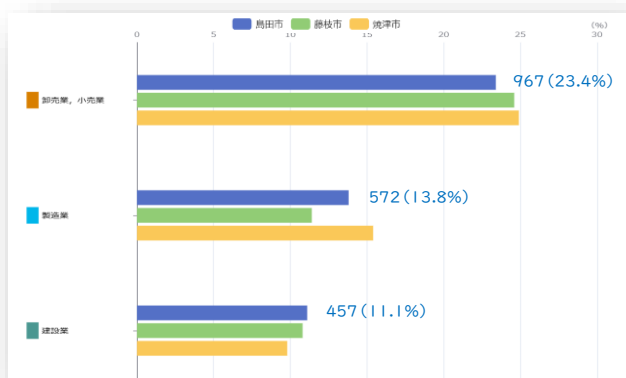
自然増減・社会増減の推移

自然増減数(出生数から死亡数を引いた値)と社会増減数(転入者数から転出者数を差し引いた数値)の推移を示したグラフである。

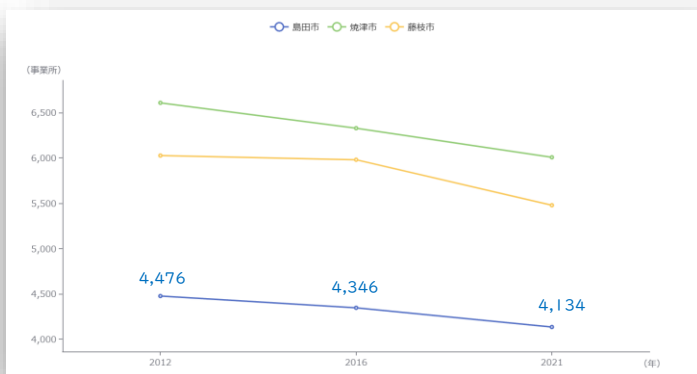
近年、社会増は発生しているが、自然減が増えているため、人口は減り続けている。

産業構造

事業所数(事業所単位):4,134事業所



*産業構造マップ→全産業→全産業の構造



*産業構造マップ→全産業→事業所数

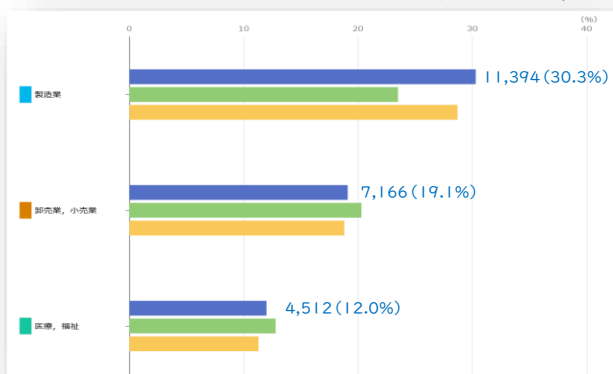
事業所数(事業所単位) 大分類(2021年)

業種ごとの事業所数を示したグラフである。もっとも多いのは「卸売業、小売業」の967事業所で、全体の23.4%を占めている。その後「製造業」の572事業所13.8%、「建設業」の457事業所11.1%が続く。

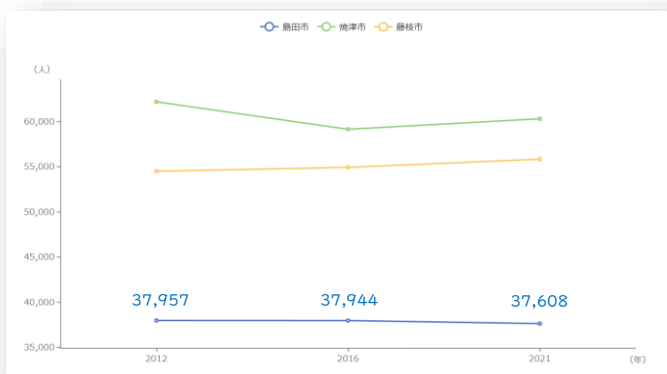
事業所数の推移

事業所数の推移をみる。2021年は4,134事業所。5年前の2016年は4,346事業所だったので、比較すると4.9%減少している。

従業者数(事業所単位):37,608人



*産業構造マップ→全産業→全産業の構造



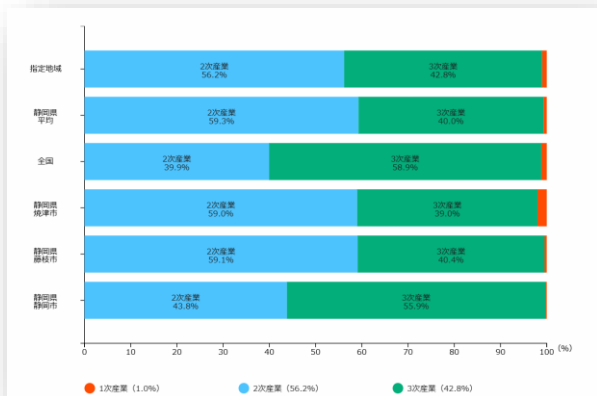
*産業構造マップ→全産業→従業者数(事業所単位)

従業者数(2021年)

業種ごとの従業者数を示したグラフである。もっとも多いのは「製造業」の11,394人で、全体の30.3%を占めている。その後「卸売業、小売業」の7,166人19.1%、「医療、福祉」の4,512人12.0%が続く。

従業者数の推移

従業者数の推移をみる。2021年は37,608人、5年前の2016年と比較すると0.9%減少している。



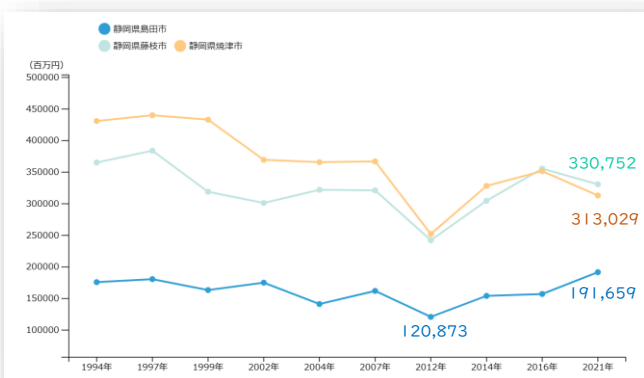
*地域経済循環マップ→生産分析

地域内産業の構成割合

島田市の産業の構成割合を全国および静岡県と比較したグラフである。2次産業の割合が56.2%であり、全国の39.9%と比べて高い。一方、3次産業の割合は、42.8%と全国の58.9%に比べて低い。

*1次産業・・・農業、林業、漁業など
*2次産業・・・製造業、建設業、工業など
*3次産業・・・商業、金融業、医療・福祉・教育などのサービス業や、
外食産業・情報通信産業など

小売業・卸売業



*産業構造マップ→小売・卸売業→年間商品販売額

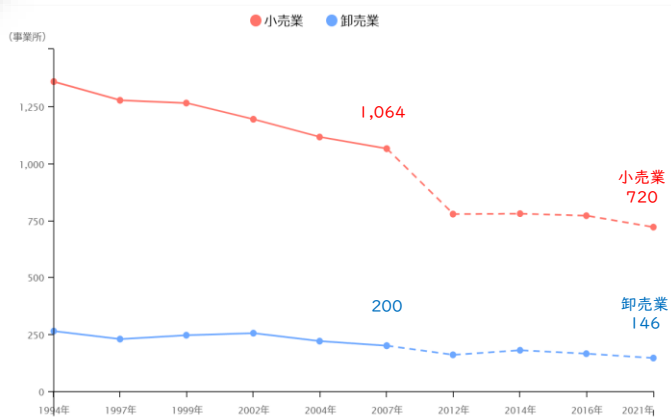
事業所数(小売業・卸売業)の推移

小売業・卸売業の事業所数の推移を示したグラフである。2021年の事業所数は、小売業720事業所、卸売業146事業所である。2007年と比較すると、小売業は32.3%減、卸売業は27.0%減となっている。

*グラフ上の破線は、日本標準産業分類の大幅改定の影響や、「産業統計調査」と「経済センサス活動調査」の集計対象範囲の違い等から、単純に調査年間の比較が行えないことを示している。

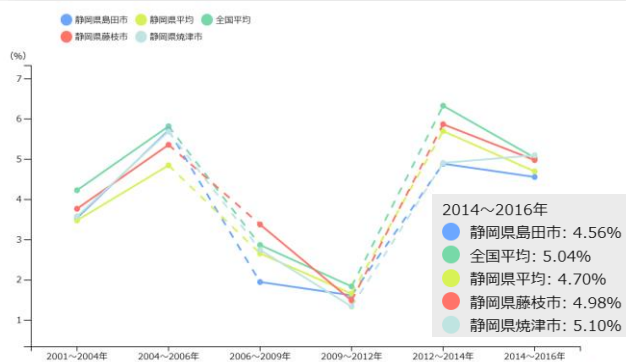
年間商品販売額の推移

小売業・卸売業の年間商品販売額の推移を示したグラフである。2021年の販売額は191,659百万円である。9年前の2012年と比較すると120,873百万円なので、58.6%増である。



*産業構造マップ→小売・卸売業→商業の構造

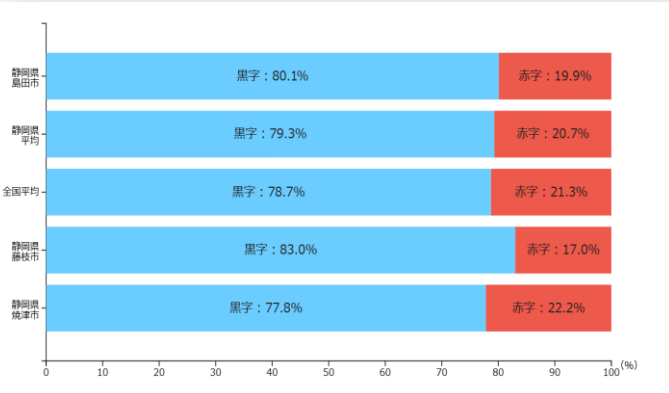
創業・企業活動



*企業活動マップ→企業情報→創業比率

創業比率の推移 (2016年)

島田市の創業比率推移をみると、2014~2016年の創業比率は4.6%。全国平均の5.0%、静岡県平均の4.7%と同程度である。



*企業活動マップ→企業情報→黒字赤字企業比率

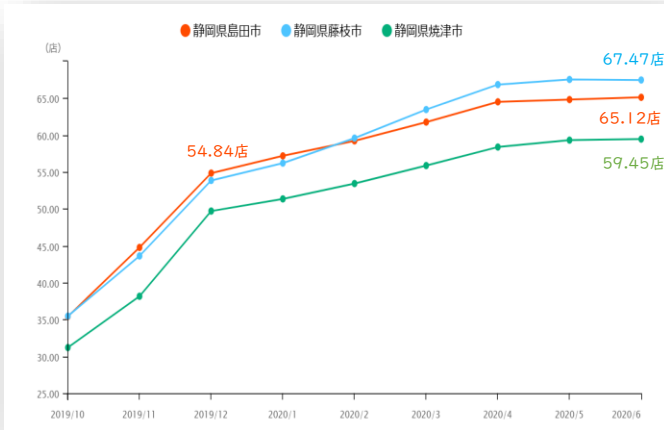
黒字赤字企業比率 (2021年)

島田市の黒字赤字企業比率を示したグラフである。島田市の黒字企業比率は80.1%で、静岡県の平均79.3%、全国平均の78.7%とほぼ変わらない。

キャッシュレス

人口1万人当たり加盟店数の推移 (2019年10月～2020年6月)

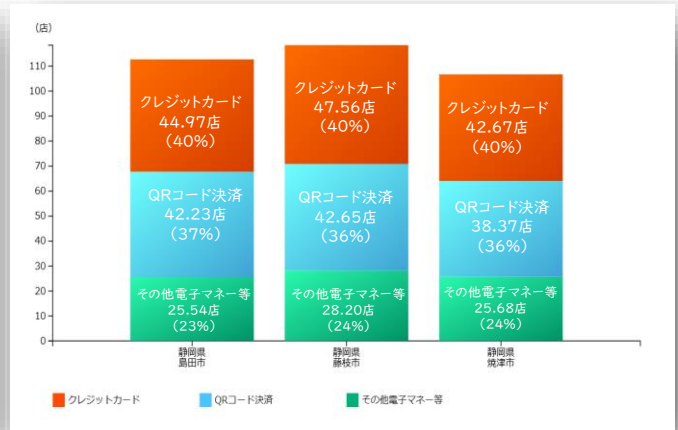
人口1万人当たりのキャッシュレス決済加盟店数の推移を示したグラフである。
2020年6月の店舗数は65.12店舗である。
半年前の2019年12月と比較すると54.84店舗なので、18.7%増である。



*消費マップ→キャッシュレス加盟店数(ポイント還元事業)

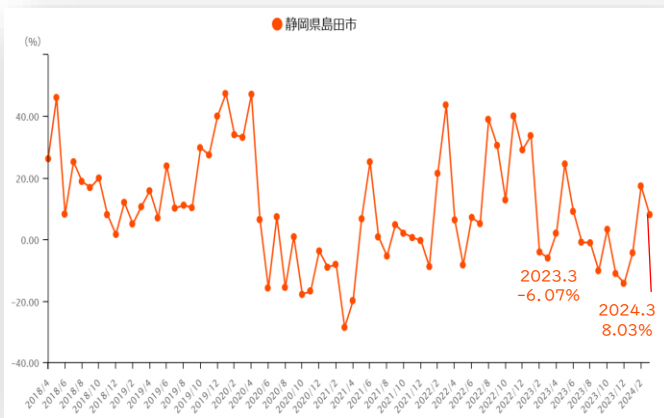
キャッシュレス手段別区分 (2020年6月)

人口1万人当たり加盟店数のキャッシュレス手段別区分を積み上げたグラフである。
「クレジットカード」が44.97店と最も多く、続いて「QRコード決済」が42.23店、「その他電子マネー等」は25.54店となっている。



*消費マップ→キャッシュレス加盟店数(ポイント還元事業)

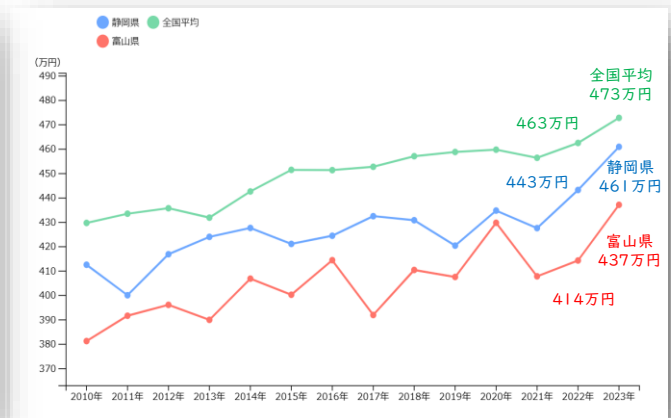
雇用



*産業構造マップ→雇用→求人情報の比較

求人情報数の推移 (前年同月比)

島田市の求人情報数の推移(事業所単位:前年同月比)を示したグラフをみる。2024年3月は、8.03%と求人情報数は増加している。1年前の2023年3月は、-6.07%であり、島田市内の求人情報は、増加傾向にある。



*産業構造マップ→全産業→一人当たり賃金

一人当たり賃金 (2023年)

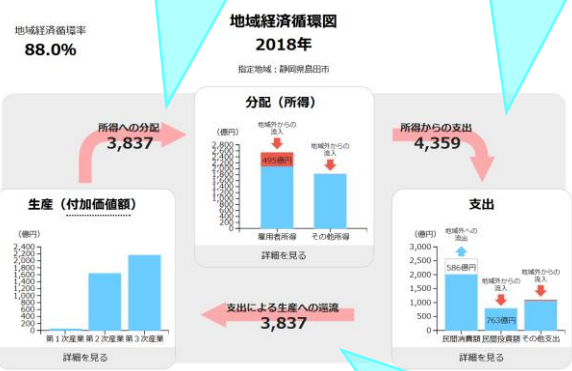
静岡県の一人当たりの賃金を全国平均と比較したグラフである。2023年の静岡県は461万円であり、全国平均の473万円と比べて低い。2022年の静岡県は443万円なので、4.1%増である。一人当たり賃金の全国順位は9位である。

地域経済循環

地域経済循環図 (2018年)

地域内企業の経済活動を通じて生産された付加価値は、労働者や企業の所得として分配され、消費や投資として支出されて、再び地域内企業に還流する。この流れを示したものが地域経済循環図である。

- ①島田市の企業は合計3,837億円の付加価値を生み出している。
- ②付加価値のうち、支出に回されるのは、4,359億円。市外からの流入があるので、付加価値額を上回っている。



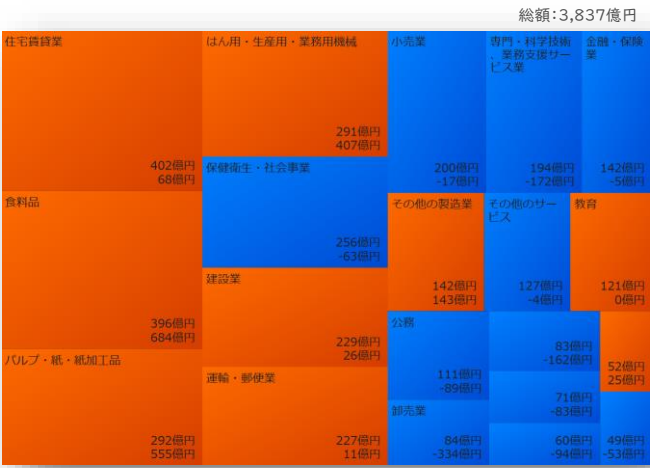
*地域経済循環マップ→地域経済循環図

- ③市内で支出に使われた金額は3,837億円。
市外への流出があるため4,359億円より少ない。

生産分析 (2018年)

左図の「生産（付加価値額）」の内訳を面の大きさで示したグラフである。付加価値額が高いのは「住宅賃貸業」「食料品」「パルプ・紙・紙工品」である。

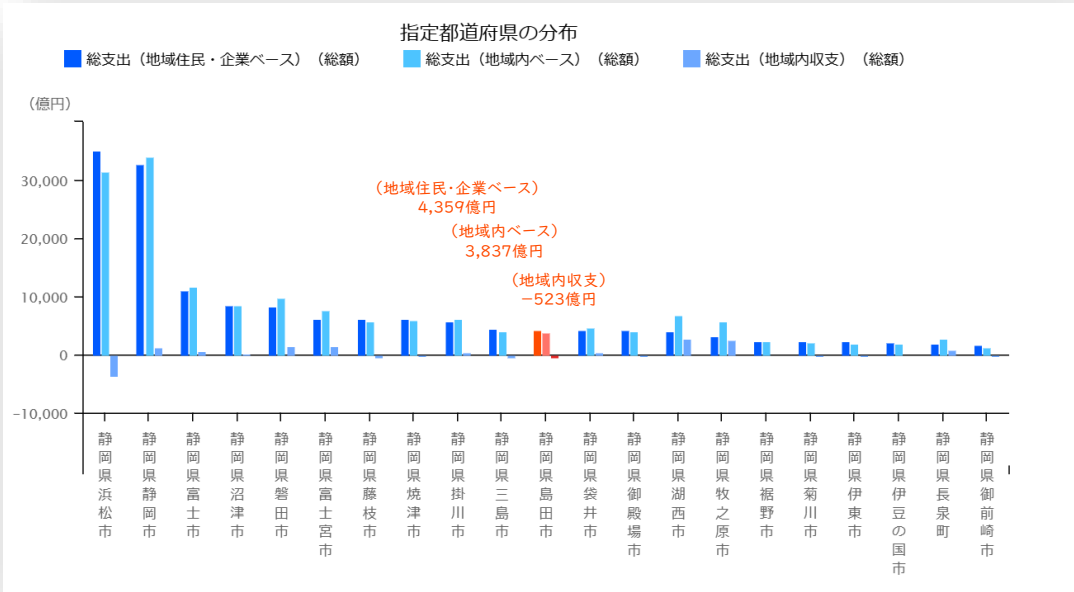
なお、グラフの色は、地域外から稼いでいる産業（赤色）と地域外から必要としているものを調達している産業（青色）を表している。



上図以外の付加価値額の合算: 309億円

支出分析 (2018年)

上図の分配（所得）から支出に回る額を示したグラフである。
総支出（地域住民・企業ベース）4,359億円、総支出（地域内ベース）3,837億円、
総支出（地域内収支）-523億円である。市外への流出があり、地域内収支はマイナスとなっている。

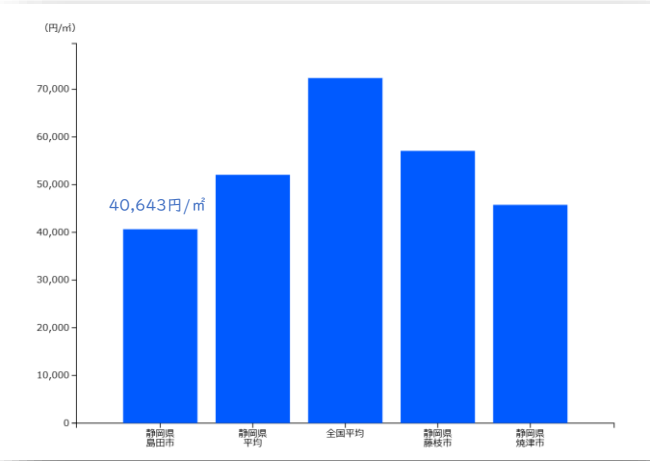


*地域経済循環マップ→支出分析

不動産取引価格

不動産取引（2023年、住宅地）

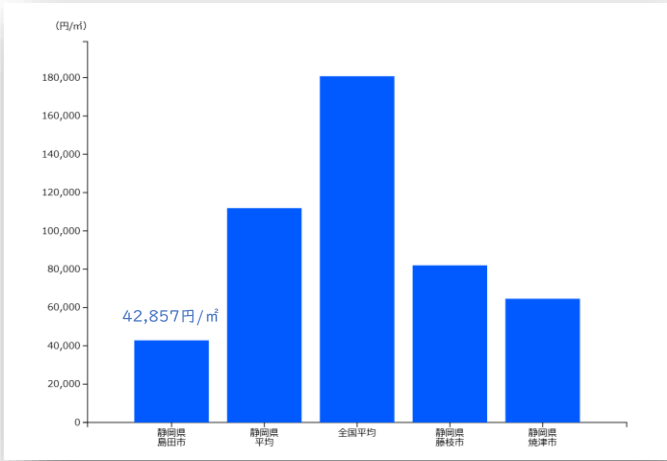
市内の㎡単価の価格を示したグラフである。
島田市内の㎡単価価格は、40,643円/㎡であり、他の地域と比較して低くなっている。



＊まちづくりマップ→不動産取引

不動産取引（2023年、商業地）

市内の㎡単価の価格を示したグラフである。
島田市内の㎡単価価格は、42,857円/㎡であり、他の地域と比較して低くなっている。

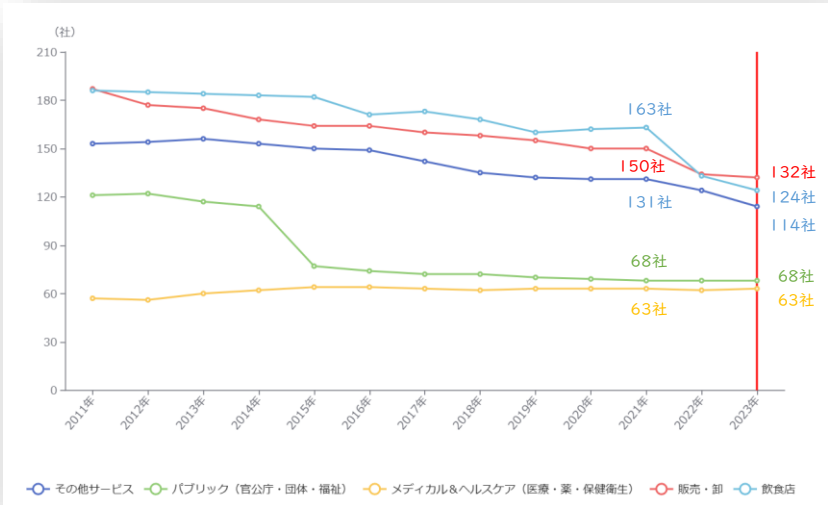


＊まちづくりマップ→不動産取引

事業所立地動向

地域内産業別推移（2023年）

島田市中心市街地活性化基本計画の対象地域にある産業別推移を示したグラフである。
販売・卸がもっとも多く、飲食店、その他サービスが続く。2021年と比較すると減少傾向にある。

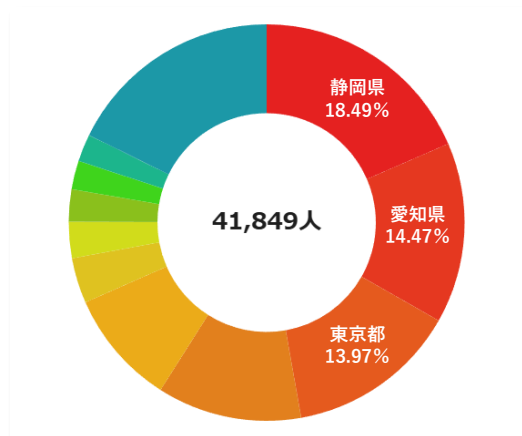


＊まちづくりマップ→事業所立地動向



島田市中心市街地活性化基本計画より

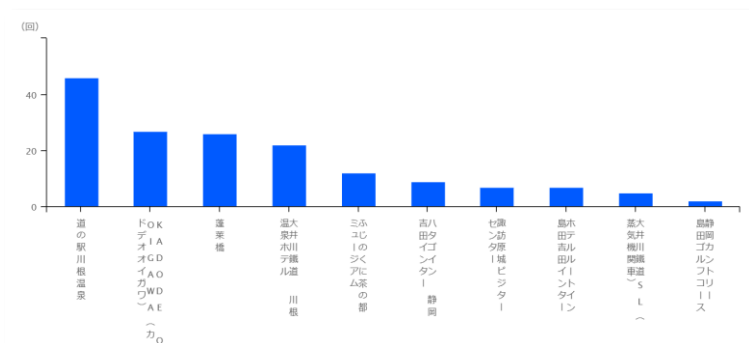
観光



*観光マップ→From-to分析(宿泊者)

From-to分析(宿泊者)(2022年)

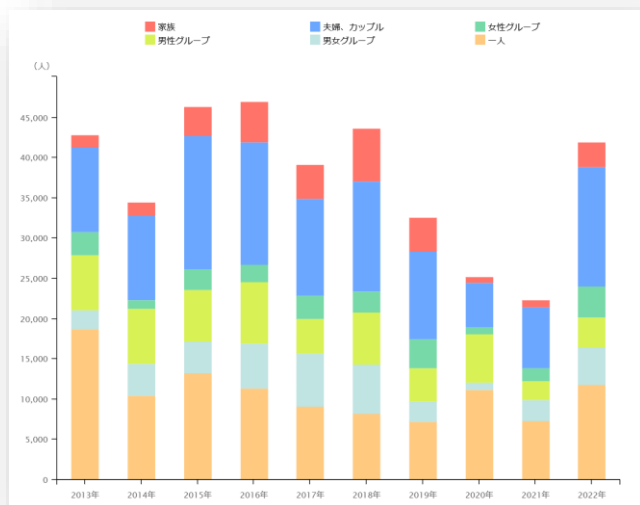
居住都道府県別の延べ宿泊者数(日本人)の構成割合を示したグラフである。静岡県が18.49%ともっとも多く、愛知県14.47%、東京都13.97%が続く。



*観光マップ→目的地分析

目的地検索ランキング(2023年3月 休日)

カーナビで経路検索された回数が多い場所をランキング形式で示したグラフである。「道の駅川根温泉」「KADODEOOIGAWA」の検索回数が多い。



*観光マップ→From-to分析(宿泊者)

延べ宿泊者数(総数)の推移(2022年)

延べ宿泊者数の推移を形態別に示したグラフである。もっとも多いのは「夫婦、カップル家族」の14,903人、その後、「男女グループ」4,736人、「女性グループ」3,822人と続く。

発行: 島田商工会議所

〒427-0029 静岡県島田市日之出町4-1

TEL: 0547-37-7155 FAX: 0547-37-5250

URL: <https://www.shimada-cci.or.jp/>

